

2026年3月5日

報道関係者各位

希少な生薬標本を教育現場へ／薬学教育および学内展示に活用

学修の一助を願い、アスゲン製薬より生薬標本を寄贈

このたび岐阜医療科学大学（所在地：岐阜県関市、学長：山岡一清）は、アスゲン製薬株式会社（本社：岐阜県瑞浪市、代表取締役社長：吉村隆男）より本学薬学部の教育活動の充実を目的として、生薬標本一式および関連製剤の寄附を受けることとなりました。

寄附される標本は、牛黄（ゴオウ）、羚羊角（レイヨウカク）、鹿茸（ロクジョウ）など、現在では入手が困難とされる希少な生薬を含むものであり、原形のまま保存された標本は、教育用資料としても極めて貴重なものです。なかでも、羚羊角（レイヨウカク）の原角は、国内においても保管例が少ないとされる希少な標本です。

本寄附は「学生の皆様の学修の一助となれば」との強い思いのもと、本学における薬学教育への活用を目的として実施されるものです。

本学薬学部の生薬学・漢方薬学分野 伊藤哲朗教授とアスゲン製薬信頼性保証部の広尾勝氏は、伊藤教授が製薬企業に在籍していた当時から約30年来のご縁があります。近年、あらためて交流が再開されたことを契機に、生薬学教育の重要性や実物標本を用いた学修の意義について意見を交わす中で、今回の寄附に至りました。

寄附された生薬標本は、主に本学薬学部の生薬学関連科目や実習科目において、実物を用いた観察・理解を深める教材として活用する予定です。加えて、学内展示を通じて、在学生のみならず、オープンキャンパス来場者や地域の方々にも、生薬の歴史や文化的背景、医療に果たしてきた役割を広く紹介し、生薬文化の普及および薬学への関心の醸成にも役立ててまいります。

なお、寄附贈呈式を、下記のとおり実施いたします。ぜひ取材をご検討ください。

■ 寄附贈呈式 概要

日時：2026年3月17日（火） 16:00～16:30

会場：岐阜医療科学大学 可児キャンパス 学長室（岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3）※1号館受付をお訪ねください

内容：目録贈呈、感謝状贈呈、記念撮影、懇談

出席者：＜本学＞ 山岡一清学長、永瀬久光薬学部長、薬学部 伊藤哲朗教授

＜寄附者＞アスゲン製薬株式会社代表取締役社長 吉村 隆男 様、信頼性保証部 広尾 勝 様

寄附者コメント：

本寄附は、生薬学分野における教育奨励を目的とし、生薬学教育および学内展示などに活用いただくことを想定しております。牛黄、羚羊角、鹿茸といった生薬を原形のまま保存した標本は、教育的にも貴重な資料であり、これらの生薬標本を、貴学における教育および展示の場でご活用いただけることを、大変光栄に存じます。

補足資料：別添1：寄附目録 別紙2,3の抜粋(写真のみ)

【この件に関するお問い合わせ先】

岐阜医療科学大学 企画課 今井、上野

〒509-0293 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3

TEL：0574-65-6555（平日 9:00～17:00）